

第40期 中間報告書

2007年4月1日～2007年9月30日

To Our Stakeholders ①

アップデート④

特集—新春10時間ドラマ制作の舞台裏—⑦

トピックス⑧

中間決算のご報告⑨

会社情報⑩

株式情報⑬

ホームページのご案内／株主メモ⑭

To Our Stakeholders

株主の皆様へ



代表取締役会長
菅谷 定彦

代表取締役社長
島田 昌幸

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第40期中間報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心から御礼申し上げます。

当社は、放送事業者としての公共的使命と社会的責任を深く理解し、良質で健全な番組を視聴者に提供し続けることで、社会とともに発展していくことを目指しております。

2007年6月の株主総会を経て、代表取締役社長を含む役員の変動を行いました。従来からの経営方針を維持いたします。厳密なコストコントロールを進めながら、個性的でクオリティの高い番組を制作・編成するという路線を堅持し、視聴者や広告主のニーズに応えることで収益力を高め、株主の皆様の期待に応えていく所存です。

当中間期の当社グループの連結売上高は591億3千万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は18億1

百万円（同22.6%減）となりました。また、経常利益は20億1千9百万円（同20.2%減）、中間純利益は10億2千8百万円（同29.3%減）となりました。減益となりましたが、アニメの海外展開が堅調に推移したことなどにより、当初の業績予想を上回りました。

なお、中間配当金は1株につき15円とさせていただきます。

下半期はスポット広告収入の減少などが見込まれることもあり、通期の業績見通しは連結売上高1,195億円、営業利益29億円、当期純利益17億円を予定しております。

番組制作費等を増強していることにより減益基調となっておりますが、将来の成長の基礎固めとして、コンテンツ制作力の強化は最大の課題であると考えております。

放送業界をめぐる環境

現在、放送業界はかつてない変革期を迎えております。ひとつは、デジタル技術の革新や各種規制の緩和、通信事業者を始めとする異業種との提携などにより、放送局のあり方が変わろうとしていることです。もうひとつは、インターネットや携帯電話を通じ、音楽配信・動画配信・ワンセグなどのサービスが次々と生まれ、利用者側が主体的にメディアやコンテンツを選択し、利用する時代となってきたことです。

こうしたなか、当社グループが中長期的により高い競争力と成長力を得るには、より魅力的な番組を制作して放送事業の基盤を強化するとともに、番組から派生するデジタル・コンテンツをインターネットや携帯電話等を通じた多様なチャンネルへと展開し、視聴者のニーズに応じていくことが大切だと考えております。

放送事業

「ニーズを先取りするタイムテーブルの実現」

当社グループにおいて、放送事業は売上高のおよそ9割を占め、またライセンス事業といった放送外事業にも派生する基幹事業となっております。そこで2005年度からの3カ年計画で「ニーズを先取りす

るタイムテーブルの実現」を中期目標に掲げ、放送事業の強化に取り組んでおります。「視聴者のニーズ＝魅力的な番組」を作ることで「広告主のニーズ＝高い広告効果」を満たし、収益力を上げようというものです。また、これら「ニーズ」を先取りした番組編成（タイムテーブル）を実現し、継続することは、「投資家のニーズ＝高い成長性」を実現するための近道であると考えております。

当社グループでは、番組制作において個性やクオリティを大切にしておりますが、一方で視聴者の支持を測る指標として視聴率を重要なツールと考えております。当中間期の平均視聴率はゴールデンタイム8.3%（前年同期比0.1ポイント減）、プライムタイム7.8%（同0.2ポイント減）、全日3.7%（同0.1ポイント減）といずれも前年同期を下回りました。HUT（世帯視聴率）が3部門ともに前年同期を下回り、特にプライムタイムで1.1ポイント下落するという厳しい環境下でありましたが、当社の視聴率は微減に踏みとどまり、シェア（占拠率）においてはすべての部門が前年同期と同率で歴代最高タイとなっております。

しかしながら、コンテンツ制作力の強化に経営資源を集中しているものの視聴率が伸び悩んでいる現状は決して楽観できるものではありません。引き続き

ハイライト

2008年 3月期 中間期実績 (連結)	売上高 591億3,000万円 (前年同期比4.2%減)		営業利益 18億100万円 (前年同期比22.6%減)	
	経常利益 20億1,900万円 (前年同期比20.2%減)	中間純利益 10億2,800万円 (前年同期比29.3%減)	売上高営業利益率 3.0% (前年同期比0.8ポイント減)	
視聴率	ゴールデンタイム (19時～22時) 8.3% (前年同期比0.1ポイント減)	プライムタイム (19時～23時) 7.8% (前年同期比0.2ポイント減)	全日平均 (6時～24時) 3.7% (前年同期比0.1ポイント減)	

き番組制作力を強化し視聴者に支持される良質な番組作りに進捗するとともに、コストコントロールをより強化してまいります。

ライツ事業

「放送事業とのシナジー

デジタル・コンテンツの多様な展開」

ライツ事業では、放送事業とのシナジーを図り、番組から派生するデジタル・コンテンツを多様なチャネルへと展開・事業化し収入の増大を目指します。

現在、中心となっているアニメ関連事業では、優良なコンテンツを確保し、国内のみならず欧米やアジアで商品化などを積極的に展開しております。また当社グループは、IT関連事業を今後大きく成長する分野と位置付けております。既に一定の支持を得ているアニメの専門サイト「あにてれ」にショッピングコーナーを設け、動画・音楽配信に加え番組関連商品の販売を始めたほか、5月に「旅・グルメ」番組の情報を集約した「テレビ東京の台所 虎ノ門市場」とプロゴルフトーナメントのハイライト映像などを配信する「テレビ東京ゴルフオンライン」

を立ち上げ、放送事業での得意分野を生かしたデジタル・コンテンツ事業をスタートさせました。IT分野におけるテレビ東京ブランドを確立するとともに、新たな収益源へと成長させていきたいと考えています。

本格的なデジタル時代への対応として、ワンセグとホームページやモバイル、双方向型固定データ等を組み合わせた事業性のある番組・コンテンツの立ち上げなど、成功モデルを実現します。

景気動向による影響を極力受けずに安定した収益を確保するため、放送事業とライツ事業のシナジーを図り、コスト構造の改善を推進してまいります。

当社グループは魅力的な番組を制作するとともに、あらゆる企業との戦略的なアライアンスを視野に入れ、新たなサービスの開発と番組のマルチユースを展開することで利用者のニーズに応え、企業価値の向上に努めてまいります。

今後の事業運営にご理解いただくとともに、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

2007年12月

代表取締役会長

菅谷定孝

代表取締役社長

島田昌幸



Up Date..... 1

放送事業



世界卓球2007



フィギュアスケート
JAPAN OPEN2007

放送収入のうちタイム収入は、特番セールスで「世界卓球2007」、「フィギュアスケート JAPAN OPEN2007」などの大型番組のセールスが順調でしたが、昨年に「サッカーW杯」があったことなどの反動で減少し、全体としては前年同期比9.6%の減収となりました。スポット収入は、レジャー関連業種での新規広告主開拓や、「フレンドシップ・プロジェクト」などの企画セールスを積極的に展開したことから前年同期比1.6%増と在京キー局の中でトップの数字を記録しました。タイム収入とスポット収入の合計では424億3千4百万円、前年同期比6.3%の減収となりました。BS収入は、10億2千7百万円、前年同期比7.7%の増収で

した。

番組販売収入は、昨年に引き続き料金改定を実施しましたが、販売数量の微減により、22億6千6百万円、前年同期比1.2%の減収となりました。

また、子会社であります(株)テレビ東京ダイレクトの通販事業は好調に推移しました。

一方、費用面では番組制作費の減少などにより、営業費用全体では510億2千3百万円、前年同期比3.3%の減少となりました。

以上の結果、放送事業の売上高は520億8千6百万円、前年同期比4.3%の減収、営業利益は10億6千3百万円、前年同期比35.0%の減益となりました。

? What's TV

「タイム収入」

タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。系列局を通じてCMを放送するネット部門と、当社の放送エリア(1都6県)のみCMを放送するローカル部門に区分されます。

「スポット収入」

スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMなどのことです。CMの放送は当社の放送エリアのみに限られます。

「番組販売」

当社の番組を他の放送局に販売すること。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワークがカバーする地域外でも当社の番組は視聴されています。

「フレンドシップ・プロジェクト」

前回の「友情」に続いて今回は「親子で遊ぼう-家族の絆」をコンセプトに、業種の異なる3社(ツインリンクもてぎ、20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン株式会社、読売新聞(五十音順))によるドラマ仕立てのコラボレーションインフォマーシャル「90秒の家族物語」を放送しました。

Up Date..... 2

ライツ事業



BLEACH ブリーチ
©久保帯人/集英社・テレビ東京・dentsu・びえろ



ケロロ軍曹
©吉崎観音/角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS



子ぎつねヘレン
©2006「子ぎつねヘレン」フィルムパートナーズ

イベント収入は、「JAPAN OPEN2007」、「カーニバル・オン・アイス」などのスケートイベントが好調でしたが、前年に大型イベント「メトロポリタン・オペラ2006」があったことの反動により、5億4千6百万円、前年同期比44.3%の減収となりました。

ソフトライツ収入は、アニメ番組で「NARUTO」、「BLEACH」は引き続き堅調に推移し、中でも「ケロロ軍曹」が好調でした。また、一般番組では「やりすぎコージー」、「ゴッドタン」など若年層向けのDVD販売が好調

でした。映画事業では「子ぎつねヘレン」、「劇場版ポケットモンスター2006」などが好調であったことにあわせて、「新世紀エヴァンゲリオン」も収支に貢献しました。また、音楽出版事業も堅調に推移し、ソフトライツ収入全体としては72億6千2百万円、前年同期比1.7%の増収となりました。

以上の結果、ライツ事業の売上高は78億8百万円、前年同期比3.9%の減収、営業利益は8億8千万円、前年同期比5.8%の増益となりました。

? What's TV

「ライツ事業」

ソフトライツ部門

- ◎放送番組の周辺権利を利用した事業
放送番組のビデオ化や海外販売、玩具の商品化などを通じて収益を上げる事業
- ◎映画出資事業
映画への出資により、興行収入やビデオ化、放映権の販売などを通じて収益を上げる事業
- ◎音楽著作物等の管理
音楽著作物の企画、制作、管理に係る事業、保有する映像素材などの販売事業等

イベント部門

スポーツ競技や文化イベントの主催などにより収益を上げる事業

Up Date 3

番組編成



当上半期の部門別平均視聴率はゴールデンタイム8.3%（前年同期比0.1ポイント減）、プライムタイム7.8%（同0.2ポイント減）、全日平均3.7%（同0.1ポイント減）でした。各部門とも前年同期に比べて減となりましたが、シェア（占拠率）でみるとすべての部門が前年同期と同率で歴代最高タイとなっております。

ゴールデンタイムに関しては、月曜19時に移行した「主治医が見つかる診療所」が6.5%で前年同期比2.5ポイント増となったほか、「ミリオン家族」、「ポケットモンスター ダイヤモンド&パール」が前年同期比1ポイント以上の増となりました。一方、「三丁目のポスト」、「いい旅・夢気分」、「TVチャンピオン2」などが、前年同期を下回りました。

特別番組では「元祖！大食い王決定戦」がシリーズ歴代最高の視聴率19.7%を獲得し、「フィギュアスケート JAPAN OPEN2007」（11.2%）、「やりすぎ都市伝説2時間SPECIAL」（11.2%）、「100円玉に愛をこめて・世界の子供たちのために」（11.1%）なども高視聴率を獲得しました。

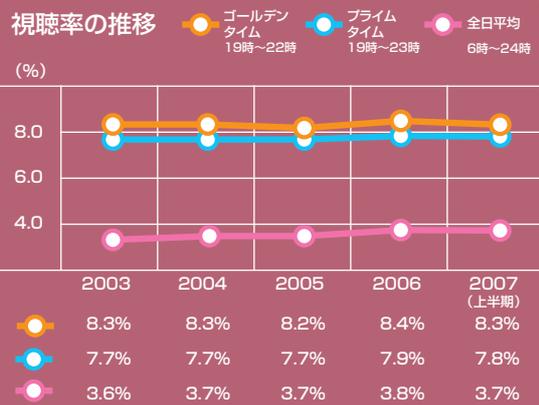


主治医が見つかる診療所



ミリオン家族

視聴率の推移



高視聴率番組

●レギュラー番組		放送日	視聴率 (%)
1	開運!なんでも鑑定団	07.05.08	16.9
2	刺客請負人	07.07.20	13.4
3	水曜ミステリー9・信濃のコロナボ事件ファイル14 死あわせなカップル	07.04.25	13.3
4	ペット大集合!ポチたま	07.09.14	12.5
5	木曜洋画劇場・2000回記念第3弾・ブレイド3	07.07.19	12.2
●特別番組		放送日	視聴率 (%)
1	元祖!大食い王決定戦	07.09.30	19.7
2	キノシタグループカップ フィギュアスケート JAPAN OPEN2007	07.04.29	11.2
2	ウソかホントかわからない やりすぎ都市伝説2時間SPECIAL	07.08.17	11.2
4	完成!ドリームハウス	07.04.08	11.1
4	100円玉に愛をこめて・世界の子供たちのために	07.08.30	11.1

運命が出会わせ、宿命が翻弄する・・・

新春ワイド時代劇「徳川風雲録 八代将軍吉宗」

2008年1月2日（水）午後2時から一挙10時間放送

来春30回目の節目を迎えるお正月恒例の長時間時代劇。

紀州藩主・徳川光貞の第四男・吉宗は、父親の厄年に生まれたため家臣の子息として育てられましたが、兄たちの急死により紀州藩主となったのち、壮絶な次期将軍争いを制し、遂に御三家出身初の将軍となります。

八代将軍・徳川吉宗の立身出世物語を、忠臣蔵、大奥・絵島生島事件、御三家の激闘など有名なエピソードを交え、娯楽豊かな痛快時代劇に描きます。



<出演>

徳川吉宗・・・中村 雅俊

加納新之助・天一坊（二役）・内田 朝陽
大岡越前忠相・・・石黒 賢

徳川光貞・・・松方 弘樹

紀伊国屋文左衛門・・・西田 敏行
大石内蔵助・・・西郷 輝彦
水戸光圀・・・藤田まこと

月光院・・・桜井 幸子
多藻・・・酒井 美紀
絵島・・・黒谷 友香

於由利・・・かたせ梨乃

雲霧仁左衛門・・・大地 康雄
山内伊賀之介・・・内藤 剛志

土屋主水之助・・・松平 健

<原作> 柴田 錬三郎「徳川太平記～吉宗と天一坊（上・下）」（集英社文庫）

<脚本> 長坂 秀佳

<製作> テレビ東京、東映株式会社

制作舞台裏の紹介

「40年、50年…続く様、時代劇の魅力満載の良質な番組作りに取り組んでいます！」

9月2日、残暑厳しい東映京都撮影所にて、「徳川風雲録」はクランクインしました。約半年前の春先から、台本作り、キャスティングと打ち合わせの日々を送り、ようやく初日を迎え一息つくと同時に、これから12月上旬までの3か月にわたる長期の撮影の安全と成功を祈り、緊張と興奮の連続が続きます。

テレビ「時代劇」が少なくなった現在、お正月恒例の長時間時代劇へのスタッフ、出演者のみなぎる思いに、京都の現場は熱気に包まれています。ベテランのある役者さんは「テレビ東京は時代劇の救世主だ」と熱く語り、若手の役者さん達は、「この長時間時代劇に出演できたことを誇りに思う」と感謝を述べてくれます。これも30年培った歴史の重みであり、皆さんの力強い言葉に我々は身も心も引き締まる思いです。この長時間時代劇が、40年、50年…と続く様、全力で取り組んでいます。

豪華キャストでおくる時代劇ファンはもちろん納得の、時代劇初心者でも楽しめる痛快エンターテイメントに仕上がっています。御期待ください。



2007 Topics



映画

上半期の映画出資は邦画3本、洋画5本、計8本でした。中でも「キサラギ」、「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド&パール ディアルガVSパルキアVSダークライ」、「劇場版NARUTO疾風伝」の邦画3作品は興行収入が目標を上回り、好実績を残しております。

特に劇場版ポケットモンスターは、人気ゲームのキャラクターを劇場にてワイヤレス配信する世界初のプロモーションを行い、10作目の節目にして上期邦画作品で興行収入第2位になりました。洋画は「ツォツィ」、「エディット・ピアフ 愛の賛歌」など良質の作品をそろえました。劇場公開だけでなく、放送、DVD販売などのマルチユースを展開してまいります。



劇場版ポケットモンスター
ダイヤモンド&パール
ディアルガVSパルキアVSダークライ
©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon
©2007ピカチュウプロジェクト



劇場版NARUTO疾風伝
©岸本斉史 スコッド/集英社・テレビ東京・びえろ
©劇場版NARUTO製作委員会2007



エディット・ピアフ 愛の讃歌



ツォツィ

イベント

昨年に続いてフィギュアスケートの3地域対抗団体戦「JAPAN OPEN2007」と、ガラ公演として「カーニバル・オン・アイス」を主催しました。安藤美姫、浅田真央、高橋大輔などのチームジャパンは昨年に引き続き見事優勝。両イベントとも好評を博しました。

また、舞台では明治座において「藤山直美 妻をめとらば」を共催しました。“情熱の歌人”与謝野晶子と夫：鉄幹のたっぴりの愛情と、ちょっぴりのほろ苦さがつまった極上の人情芝居が好評を博し、連日満員となりました。



フィギュアスケート JAPAN OPEN2007



藤山直美 妻をめとらば

Financial Statements

連結業績のご報告 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位: 百万円)

中間連結 貸借対照表 (要約)	当中間期 2007年 9月30日現在	前中間期 2006年 9月30日現在	前期 2007年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	42,395	44,499	45,441
固定資産	32,486	33,656	33,397
有形固定資産	15,918	15,718	16,347
無形固定資産	947	1,260	1,074
投資その他の資産	15,619	16,677	15,975
資産合計	74,881	78,155	78,839
(負債の部)			
流動負債	19,649	23,027	23,234
固定負債	3,299	4,425	4,075
負債合計	22,948	27,452	27,310
(純資産の部)			
株主資本	50,206	48,847	49,487
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	32,612	31,253	31,893
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	866	1,087	1,237
少数株主持分	859	768	804
純資産合計	51,932	50,703	51,529
負債純資産合計	74,881	78,155	78,839

(単位: 百万円)

中間連結損益計算書 (要約)	当中間期 2007年4月1日~ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日~ 2006年9月30日	前期 2006年4月1日~ 2007年3月31日
売上高	59,130	61,722	124,069
売上原価	42,109	43,878	87,548
売上総利益	17,020	17,843	36,520
販売費及び一般管理費	15,218	15,516	32,074
営業利益	1,801	2,326	4,446
営業外収益	282	259	466
営業外費用	64	55	115
経常利益	2,019	2,529	4,797
特別利益	0	17	60
特別損失	40	8	220
税金等調整前中間(当期)純利益	1,979	2,539	4,637
法人税、住民税及び事業税	695	900	1,892
法人税等調整額	224	263	261
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30	△79	43
中間(当期)純利益	1,028	1,454	2,440

(単位: 百万円)

中間連結キャッシュ・ フロー計算書(要約)	当中間期 2007年4月1日~ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日~ 2006年9月30日	前期 2006年4月1日~ 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48	2,785	4,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,403	△866	△657
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690	△5,132	△7,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(減少: △)	△3,142	△3,214	△3,574
現金及び現金同等物の期首残高	8,711	12,285	12,285
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,569	9,071	8,711

単体業績のご報告 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位: 百万円)

中間貸借対照表 (要約)	当中間期 2007年 9月30日現在	前中間期 2006年 9月30日現在	前期 2007年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	39,366	42,086	43,213
固定資産	31,538	32,405	32,287
有形固定資産	15,478	15,253	15,903
無形固定資産	951	1,255	1,091
投資その他の資産	15,109	15,896	15,293
資産合計	70,905	74,492	75,501
(負債の部)			
流動負債	22,697	26,174	27,072
固定負債	2,606	3,825	3,406
負債合計	25,304	30,000	30,478
(純資産の部)			
株主資本	44,749	43,411	43,796
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	27,155	25,817	26,202
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	851	1,080	1,226
純資産合計	45,601	44,491	45,023
負債純資産合計	70,905	74,492	75,501

(単位: 百万円)

中間損益計算書 (要約)	当中間期 2007年4月1日~ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日~ 2006年9月30日	前期 2006年4月1日~ 2007年3月31日
売上高	53,912	55,181	111,200
売上原価	37,990	38,940	77,886
売上総利益	15,922	16,240	33,313
販売費及び一般管理費	14,984	14,959	30,640
営業利益	937	1,281	2,673
営業外収益	939	727	965
営業外費用	53	69	148
経常利益	1,823	1,939	3,490
特別利益	0	16	59
特別損失	38	6	216
税引前中間(当期)純利益	1,785	1,949	3,333
法人税、住民税及び事業税	280	376	1,059
法人税等調整額	242	320	325
中間(当期)純利益	1,262	1,253	1,948

連結指標

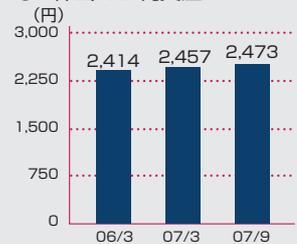
●総資産



●純資産・自己資本比率



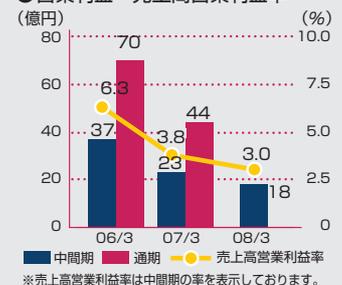
●1株当たり純資産



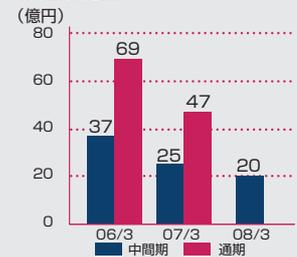
●売上高



●営業利益・売上高営業利益率



●経常利益



●中間(当期)純利益



(単位：百万円)

中間連結株主資本等変動計算書 (要約) 当中間期 (2007年4月1日~2007年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日残高	8,910	8,684	31,893	△0	49,487
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△309		△309
中間純利益			1,028		1,028
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	718	△0	718
2007年9月30日残高	8,910	8,684	32,612	△0	50,206

	評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
2007年3月31日残高	1,237	804	51,529
中間連結会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△309
中間純利益			1,028
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)	△370	54	△315
中間連結会計期間中の変動額合計	△370	54	402
2007年9月30日残高	866	859	51,932

(単位：百万円)

中間株主資本等変動計算書 (要約) 当中間期 (2007年4月1日~2007年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日残高	8,910	8,684	26,202	△0	43,796
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△309		△309
中間純利益			1,262		1,262
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額)					
中間会計期間中の変動額合計	-	-	952	△0	952
2007年9月30日残高	8,910	8,684	27,155	△0	44,749

	評価・換算差額等	純資産合計
2007年3月31日残高	1,226	45,023
中間会計期間中の変動額		
剰余金の配当		△309
中間純利益		1,262
自己株式の取得		△0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額)	△374	△374
中間会計期間中の変動額合計	△374	577
2007年9月30日残高	851	45,601

Corporate Information

会社情報 (2007年9月30日現在)

テレビ東京グループ

放送事業 (地上波放送、国内番組販売等)

番組制作・放送関連業務等

■連結子会社

- (株)テレビ東京コマーシャル (CM放送の準備)
- (株)テレビ東京アート (美術装置・番組用照明の企画制作)
- (株)テレビ東京システム (システム開発)
- (株)テレビ東京制作 (番組の企画・制作)
- (株)テレビ東京ヒューマン (放送に係る人材派遣)
- (株)テクノマックス (技術制作)
- (株)テレビ東京建物 (スタジオ管理)
- TV TOKYO AMERICA, INC. (米国報道)

■主要な持分法適用関連会社

- (株)日経映像 (番組制作)

その他

■連結子会社

- (株)テレビ東京メディアネット (番組販売)
- (株)テレビ東京ダイレクト (通信販売・広告販売)
- (株)イー・ティー・エックス (アニメ番組提供)

■主要な持分法適用関連会社

- (株)インタラクティブヴィ (CS委託放送)
- テレビ東京ブロードバンド(株) (映像コンテンツの配信・提供)

番組制作関連
業務委託等



番組販売委託・
映像コンテンツ供給等

放送事業
(地上波放送、国内番組販売、
BS放送関連等)

テレビ東京
TV TOKYO Corporation

ライツ事業
(ソフトライツ、イベント等)

音楽番組関連
業務の委託等



番組制作協力・
情報提供等



番組宣伝の広告の掲載、
情報・コンテンツの供給等

ライツ事業 (ソフトライツ・イベント等)

■連結子会社

- (株)テレビ東京ミュージック
(音楽著作権の管理、イベント、音楽番組の制作等)
- テレビ東京ゴルフダイジェスト・オンラインLLC合同会社
(ゴルフ関連の検定事業・通信販売)

■その他の関係会社

- (株)日本経済新聞社 (新聞・出版)

グループ会社紹介

株式会社テレビ東京アート

テレビ東京の番組、イベントなどの美術セット、照明業務、それにタイトル制作を担当しているのが(株)テレビ東京アートです。バラエティ、音楽番組、ニュース、ドキュメンタリーなど様々な番組がありますが、美術セットと照明はなくてはならないものです。視聴者の皆様に、優れた映像をお届けするために日夜工夫を重ねています。

フィギュアスケートや柔道などのスポーツイベントも増えてきました。段々大仕掛けになってきたのが特徴です。セットでは最近、コンピュータグラフィックスを駆使して合成したものなども出てきました。最新技術の研究、導入にも積極的に取り組んでいます。

株式会社テレビ東京アート 会社概要 (2007年9月30日現在)



ワールド・ビジネスサテライト

- 設立：1986年10月1日 (株)テレビ東京美術センターとして設立
2005年7月1日 (株)テレビ東京照明と合併し現社名に変更
- 資本金：2,000万円
- 売上高：22億6,672万円 (2007年3月期実績)
- 従業員数：59名
- 事業内容：
 - テレビ番組、イベント等の美術・照明部門を担当
美術セットのデザイン並びに照明プランの企画・立案等
 - テレビ番組のタイトルおよびCG制作
 - 照明機材等のレンタル

会社の概要

会社名： 株式会社 テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)
本店所在地： 〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12
URL： www.tv-tokyo.co.jp
開局： 1964年4月12日
呼出符号： JOTX-DTV (デジタル7チャンネル)
JOTX-TV (アナログ12チャンネル)
資本金： 89億1,095万円
従業員数： 連結1,228名、単体683名

主な事業所

本社・スタジオ (東京都港区)
天王洲スタジオ (東京都品川区)

支社・支局

関西支社/名古屋支社/ニューヨーク支局/ワシントン支局/
ロンドン支局/モスクワ支局/香港支局/ソウル支局/北京支局/上海支局

役員

代表取締役会長

菅谷 定彦

代表取締役社長

島田 昌幸

取締役副社長

森 廣成 秘書室、総務局、人事局、労務、関係会社担当
三澤 啓二 営業局、ネットワーク局担当 兼 BS業務推進本部長

専務取締役

箕輪 新一 経理、内部統制担当 兼 関係会社担当補佐

常務取締役

犬飼 正 技術担当
原田 利一 システム開発室長 兼 番組情報基盤整備担当
石川 博 メディア事業推進本部長
菊池 悟 編成局、ドラマ制作室担当 兼 BS業務推進本部本部長補佐
藤延 直道 制作局、報道局、スポーツ局担当

取締役

張替 正美 総務局長
神田 忠慶 ネットワーク局長
佐々木 彰 ドラマ制作室長
今泉 至明 特命事項担当
深沢 健二 経営戦略局、コンプライアンス統括室担当
高島 政明 経理局長
斎藤 史郎 株式会社日本経済新聞社 専務取締役

常勤監査役

奥川 元

監査役

出原 達夫
野村 尚宏 株式会社日本経済新聞社 常務取締役
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問
齋藤 宏 株式会社みずほコーポレート銀行 取締役頭取 (代表取締役)

(注) 1. 取締役 斎藤史郎氏は社外取締役です。
2. 監査役 野村尚宏、荒木浩、齋藤宏の3氏は社外監査役です。

TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の67.5%をカバーしています。

テレビ大阪株式会社

〒540-8519 大阪市中央区大手前1-2-18
www.tv-osaka.co.jp

テレビ愛知株式会社

〒460-8325 名古屋市中区大須2-4-8
www.tv-aichi.co.jp

テレビせとうち株式会社

〒700-8677 岡山市柳町2-1-1
www.webtsc.com

株式会社テレビ北海道

〒060-8517 札幌市中央区大通東6-12-4
www.tv-hokkaido.co.jp

株式会社TVQ九州放送

〒812-8570 福岡市博多区住吉2-3-1
www.tvq.co.jp



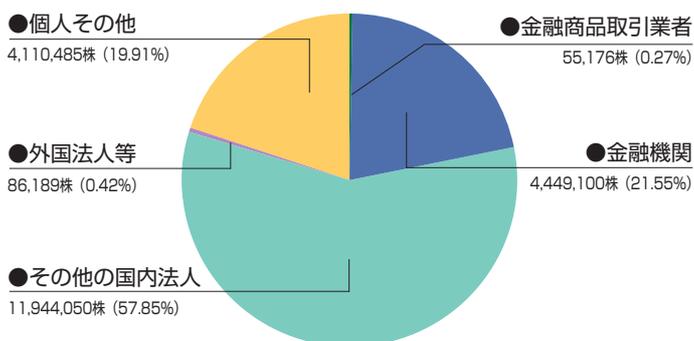
Stock Information

株式情報 (2007年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	82,580,000株
発行済株式の総数	20,645,000株
株主数	4,314名
単元株式数	100株

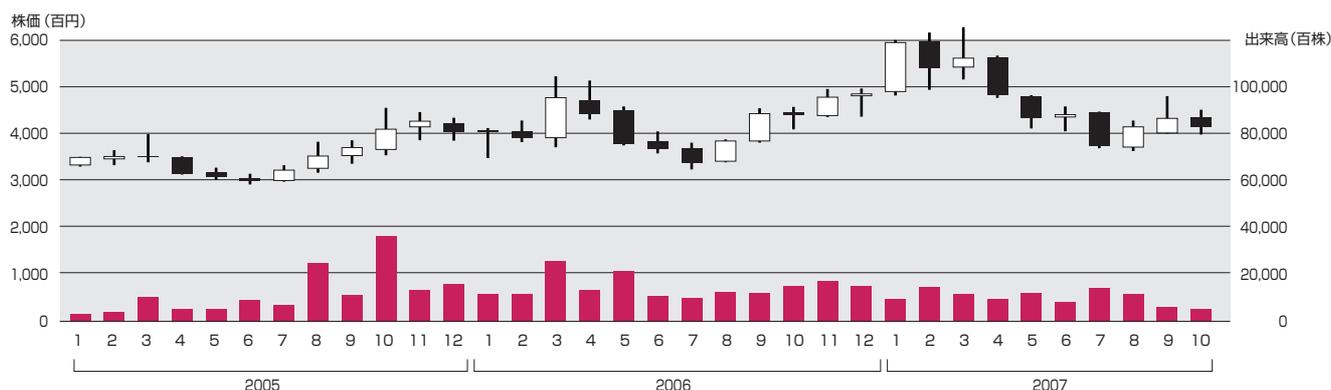
所有者別株式分布状況



株式の状況

株主名	持株数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社日本経済新聞社	6,881	33.33
糸山英太郎	2,650	12.84
日本生命保険相互会社	1,036	5.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	984	4.77
株式会社みずほ銀行	600	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	590	2.86
東レ株式会社	518	2.51
株式会社毎日放送	518	2.51
三井物産株式会社	518	2.51
三菱商事株式会社	362	1.76

株価と売買高の推移



株主優待のお知らせ

株主の皆様にご理解いただくために、公開番組へ抽選でご招待しています。また、当社オリジナルクオカード (500円分) を謹呈しています。

毎年3月31日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「夏祭りにっぽんの歌」に抽選でご招待

毎年9月30日現在の所有株式
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「年忘れにっぽんの歌」に抽選でご招待

ホームページのご案内

番組情報をはじめ、当社が出資している映画・イベント情報など様々な情報をホームページでもご覧いただけます。



当社ホームページ
www.tv-tokyo.co.jp

IR情報のページでは、毎月の売上実績、有価証券報告書などの各種報告書を掲載しています。四半期ごとの決算説明会の模様を動画配信しています。



当社IR情報のホームページ
www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先・お問い合わせ先)
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

同 取 次 所
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店及び全国各支店

外国人等の株主名簿への記載制限
放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。

【定款第12条】

当社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法第52条の8第1項及び第2項の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録することを拒むことができる。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 外国政府またはその代表者
- (3) 外国の法人または団体
- (4) 前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体



お問い合わせ先
株式会社テレビ東京 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12
Tel.(代表) 03-3432-1212



本報告書は、環境保全のため、古紙パルプ100%再生紙を使用し、「大豆油インキ」で印刷しています。